



らんざん



議会報告会開催 P6

令和4年
第3回定例会

傍聴者
37人

未来へ向かって

秋のスポーツフェスティバル2022・ドッジビーゴルフ=R4.10.2

- ◆令和3年度決算審査 P2~5
- ◆第1回臨時会・第3回定例会報告 P6~8
- ◆一般質問11人が町政を問う P9~19
- ◆常任委員会・一部事務組合報告他 P20、21
- ◆読者の声/議会だよりアンケート/編集後記 P22

令和3年度 特別会計決算

医療・介護、じわじわと超高齢化社会へ入っています 高齢化率33%（町民3人に1人が65歳以上）

国民健康保険特別会計

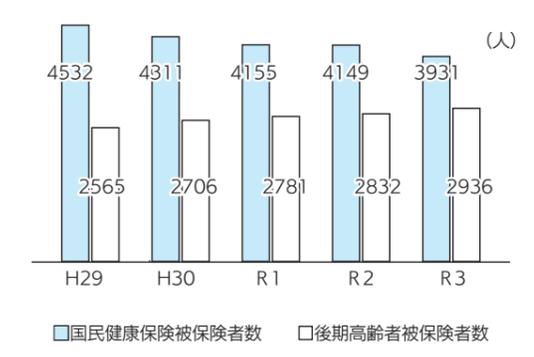
歳入 20億3715万円
 (保険税3億6554万円)

歳出 19億4633万円
 (保険給付費13億6355万円)

一人あたり医療費
 嵐山町 39万782円
 埼玉県 35万6512円

Q コロナ特例減免制度の利用者数は
 A 17世帯が受けた。
 ※コロナによって収入減少のあった人は申請し、用件によって減免措置された。

国民健康保険・後期高齢医療保険被保険者数



後期高齢医療保険特別会計

歳入 2億3743万円
 歳出 2億3355万円

嵐山町医療費総額
 一人あたり医療費 77万9101円

介護保険特別会計

歳入 16億5416万円
 歳出 15億5602万円

●介護保険被保険者（65歳以上）5881人
 要介護認定者 892人

Q 介護保険基金積立金残高2億1900万円の用途は
 A R4・5年度で基金6600万円を取り崩す計画。



9月は認知症月間です（役場入口）

下水道事業会計

●収益的収入及び支出
 収入 6億755万円
 支出 5億5465万円

●資本的収入及び支出
 収入 2億608万円
 支出 2億7385万円

●公共下水道 5149戸・10829人
 管理型合併浄化槽 799戸・2131人

Q 公共下水道の老朽化対策に対する具体的な事業は
 A 花見台幹線のテレビカメラ調査、花見台マンホール制御盤入れ替え工事、マンホールポンプ用機器修繕等

水道事業会計

●収益的収入及び支出
 収入 5億4932万円
 支出 4億3401万円

●資本的支出 2億567万円
 主な工事
 町道大蔵2号線配水管布設替工事 2169万円
 町道1-25号千手堂舗装復旧工事 1263万円

Q 建設改良費8628万円が次年度に繰り越されたが、その理由は。
 A 新浄・配水場整備に係る実施計画が、川島地区産業団地エリアであるため、配水計画の変更を行い、次年度以降実施となる。

※新浄・配水場整備…既存の第1・第2浄水場の機能を集約した施設を新たに遠山地区につくること。

議会からの政策提言を行うため議員全員で議論していきます。

来年度予算に議員全員が一致した政策提言をするため、決算審査特別委員会終了後（9月12日）にテーマを「今後のラベンダー園の運営について」と決定しました。政策提言に向けて自由討議を重ねます。

令和3年度決算

ラベンダー園の運営について

政策提言へ

H28～R3までの総事業費 3億6674万円
 (国からの補助1億8332万円)

- ・R5年度から補助金交付はない
- ・より良い事業展開を協議しよう

R4年12月～1月
予算策定

令和5年度予算

R4年9月

R5年3月

令和3年度決算一般会計討論

反対 (川口 浩史 議員)

千年の苑の3年度実績は総額6672万円である。このうち地方創生交付金は半額の3336万円であり、この地方創生交付金も令和5年度からはなくなる。こうした状況では、千年の苑が稼ぐ原動力になりうるのか、まったく展望が持てない。先日ニュースでは、羽生市の第3セクター「キャッセ羽生」の破綻が報じられていた。行政が関わる施設が、また破綻したわけだから、必要最小限にしてゆくことが赤字を拡大させないことになる。今後の方向性を慎重に考えるべきである。

賛成 (大野 敏行 議員)

コロナ対策として、ワクチン接種力を注ぎ、近隣市町村に先駆けてスムーズな接種が行われた。時間を惜しまず事務にあたられた関係各位に感謝申し上げます。臨時特別給付金事業では、住民税非課税世帯、子育て世帯、ひとりの親世帯などに集中した事業展開が図られました。高齢者外出支援タクシー事業では、使い勝手の良さから、北部・中部・南部とも利用者が伸び、特に北部地区が伸びております。財政調整基金積立金4億7千万円については、目的を定めて積み立てをされたものと理解します。

賛成 (青柳 賢治 議員)

- 1 日本において初めて経験するコロナワクチン接種事業は、町民への接種率を高める工夫と努力によって、希望する高齢者等に3回目までの接種ができた。
- 2 子育て支援策が拡充され、町のできる身の丈にあった支援となった。個別政策としては、こども医療費給付対象者の拡大、学校給食において第2子、第3子への助成がされ、保護者への経済的支援となった。
- 3 大規模災害への備えや、予定される学校再編に向けて等の財源は、令和3年度末、財政調整基金残高が7億3千万円となった。

反対 (渋谷登美子 議員)

- 1 ふれあい交流センターの収納サービス廃止は、サービスの低下です。交流センター事業を見直し、居場所事業も展開を。
- 2 行政計画策定の民間委託は職員による地域状況の調査分析力が育ちません。職員が調査し、町民との意見交換が必要で。
- 3 部落解放同盟嵐山支部の補助金交付は、補助金適正化委員会では、議論されず、検討もされていません。領収書の添付なし、日当支給など課題があり、補助金交付の見直しを。

令和4年 第1回臨時議会 (7月27日)

地方創生臨時交付金より 新型コロナウイルス感染症対策追加 財政調整基金より 局地的豪雨災害対策に繰入れ

一般会計歳入歳出 9147万4000円を追加
歳入歳出予算総額 64億305万円に！

主な議案 報告第6号 専決処分の報告

国家賠償法に基づく損害賠償額。4月2日将軍澤地内町道1-15号において、道路の一部に陥没があり、通行車両に損傷を与えた。賠償額6万8230円

議案第31号 令和4年度 一般会計補正予算 (第2号)

主な歳入
地方創生臨時交付金
新型コロナウイルス感染症対策事業の追加・変更 7147万円
財政調整基金より繰入れ
局地的豪雨災害やコロナウィルス感染症対策 2000万円

主な歳出
子育て世帯応援給付金事業補助金
子育て世帯の経済的負担を軽減するため 1



幼稚園の設備充実へ=R4.9.21

人あたり1万円
1767万円
水道基本料免除事業
町民及び事業者等の水道基本料金を免除するもの。令和4年8月5日～5年1月までの6カ月分 3054万円
幼稚園施設改修事業
新型コロナウイルス感染症対策として幼稚園の換気及び空調設備の整備 1820万円

学校給食費負担軽減事業
栄養バランスや量を保った学校給食が実施されるよう、物価高騰に伴う学校給食費の増額分に対する補助 (幼稚園6名、小学校700名、中学校349名) 458万円

議会報告会・意見交換会開催のお知らせ

意見交換会テーマ
「ラベンダー園について」「ごみ処理について」

日時：11月12日(土) 午後2時～
(今年度は午後のみとなります)

場所：町民ホール

申込先・方法：議会事務局まで電話 (62-4587)にてお申込みください
(定員になり次第締め切ります)

- ◆感染症対策のため、定員を40名といたします。
- ◆感染症の状況によっては、開催を中止する場合があります。中止の場合、町ホームページ等にてお知らせいたします。
- ◆発熱等風邪症状がある場合、入場をお断りさせていただきます場合があります。
- ◆託児を希望される場合、11月10日(木)までに議会事務局へお申し込みください。



ぜひ お越しください！

令和4年 第3回定例会 (8月26日～9月14日)

諸物価が高騰 臨時交付金でさらなる支援策を…

一般会計歳入歳出 6億2446万4000円を追加
歳入歳出予算総額 70億2752万円に！

議案第34号 令和4年度 一般会計補正予算 (第3号)

主な歳入
地方交付税
普通交付税の交付額の決定 2億1198万円
国庫支出金
・障害者自立支援給付費負担金1088万円
(利用者の増加による)
・コロナウィルス感染症対策事業 340万円
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 1070万円

県支出金
新規就農総合支援事業補助金 836万円
寄附金
一般寄附金ほか6項目の寄附 3103万円
前年度繰越金
前年度決算における純剰余金の確定 3億2667万円

主な歳出

ふるさと納税推進事業
寄附増による返礼品等 988万円
ふるさとづくり基金積立金 (寄附4612万円) 5238万円
公共公益施設建設基金積立金 2億円
財政調整基金積立金 2億円

介護・訓練等給付事業
グループホーム利用者増による 2177万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 187世帯へ 1070万円
障害児通所支援事業
放課後等デイサービス、児童発達支援の利用者増加による 1006万円
新規就農支援事業補助金
新規就農者に機械施設等の導入を支援 836万円
住宅リフォーム補助金
申請件数増加による 200万円

各小学校施設改修事業 367万円
道路橋りょう災害復旧事業 1000万円
班溪寺橋護岸復旧 1760万円

議案第38号
水道事業会計補正予算(第2号)
新浄・配水場建設に伴う関連業務委託料

議案第41号
嵐山町立幼稚園保育料等に関する条例の一部改正

同意第2号
嵐山町教育委員会委員の任命につき同意を求めるもの



嶋本佳則氏(再任)

請願審査
請願第1号
建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基本拠出等、「特定石棉被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書を求める
請願書
提出者 埼玉土建一般労働組合比企西部支部
(紹介議員 川口浩史)



アスベスト吹きつけの状況

《請願結果》
採択すべきもの



賛否はこちらで確認できます

第3回定例会 審議結果

議案番号	賛否の分かれた町長提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議結果											
		森一人	渋谷登美子	松本美子	川口浩史	青柳賢治	長島邦夫	畠山美幸	大野敏行	藤野和美	狩野勝義	山田良秋	小林智
議案第34号	令和4年度嵐山町一般会計補正予算(第3号)議定について	議決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
認定第1号	令和3年度嵐山町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

議案番号	全員賛成の町長提出議案	議案番号	全員賛成の町長提出議案
報告第7号	令和3年度嵐山町健全化判断比率の報告について	認定第2号	令和3年度嵐山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
報告第8号	令和3年度嵐山町資金不足比率の報告について	認定第3号	令和3年度嵐山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
同意第2号	嵐山町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	認定第4号	令和3年度嵐山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第33号	嵐山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて	認定第5号	令和3年度嵐山町水道事業会計決算認定について
議案第35号	令和4年度嵐山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)議定について	認定第6号	令和3年度嵐山町下水道事業会計決算認定について
議案第36号	令和4年度嵐山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)議定について	議案第39号	令和3年度嵐山町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第37号	令和4年度嵐山町介護保険特別会計補正予算(第1号)議定について	議案第40号	令和3年度嵐山町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第38号	令和4年度嵐山町水道事業会計補正予算(第2号)議定について	議案第41号	嵐山町立幼稚園保育料等に関する条例の一部を改正することについて

議案番号	議員提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議結果											
		森一人	渋谷登美子	松本美子	川口浩史	青柳賢治	長島邦夫	畠山美幸	大野敏行	藤野和美	狩野勝義	山田良秋	小林智
発議第11号	国葬に反対する意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
発議第12号	カルト的宗教の規制を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
発議第13号	インボイス制度の中止を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
発議第14号	高等教育無償化を進める制度構築を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×



大野 敏行 議員

中学校部活動の地域移行について

答 国・県の動向を見定める段階

部活動で大事なのは生徒の意向

問 現在の体制と先生の負担は。

答 教育委員会事務局 長 平日は2時間以内、休日は3時間以内の短時間で質の高い活動ができており、充実している。

問 今後、3年間で地域移行への計画を文科省が打ち出した。町の動きはどのように計画するか。

答 教育委員会事務局 長 県から、令和5年度から7年度までに休日の運動部活動を地域移行していく方針であると情報提供が

あった。現段階では、国や県の方向性を注視していく。

問 地域移行になった場合、現在のよう

に無償ではないと思うが、その対策は。

答 教育委員会事務局 長 学校から部活動を切り離すことが、学校教育にとって良いことかどうか、子どもたちにとって意義のある活動になるか、疑問を持っている。現時点では、顧問の先生方に兼職発令を出し、土日等は先生ではなく、地域の指導者の身分で指導にあたっていただくことが現実的と考える。その財源について、国・県が検討しているの、まずはその答えを待ちたい。

防災放送を利用しテレビ放送のお知らせ

問 イベントのテレビ放送を見る機会が多くある。しかし、事前に情報入手ができた一部の人たちに限られる。昼の時間帯のみでも良いので、災害無線でお知らせできないか。

答 地域支援課長 規定では緊急性の高いもの、災害に関するもの、人命に関するもの、最近ではコロナに関すること等を流している。テレビ放送のお知らせは、ツイッター、あんしんメール、町ホームページより配信



玉ノ岡中学校部活動の様子(上:野球部、下:テニス部)=R4.9.21



【その他の質問事項】
◆庁舎内昇降階段周りの転落防止ネットの設置について



山田 良秋 議員

町内の不法投棄の実態は

答 令和3年度23件、4年度現在11件

ポイ捨てがあります
きれいな町を

問 町内で「不法投棄禁止 嵐山町」や「不法投棄処罰されま

す 小川警察署・嵐山町」の看板を見かける。
(1)町内の不法投棄の実態は。

(2)警察との連携はどのようになっているか。
(3)これまでに違反業者等を公表したケースはあるか。

答 環境課長

(1)令和3年度23件、令和4年度7月までの3カ月間で11件。禁止看板やロープ、くい等の対策を講じ、夜間パトロールも行っている。

再問 「緑と清流 オオムラサキが舞う自然豊かなまち らんざん」をめざし、町民を巻き込んで、きれいな町を実現してほしい。町長の考えは。

再答 町長 基本的な町づくりの考え方である。次の世代にも伝えていかなければならない。

再問 【その他の質問事項】
◆道路の補修について

再答 町民を巻き込んだ監視体制は構築できないか。

再問 環境課長 直接声をかけるとトラブル等が懸念されるため、まずは町へ通報するよう案内している。

再答 環境課長 横ばいである。



町内にある不法投棄禁止看板=R4.9.10



伏守 勝義 議員

ラベンダー園の二画にポピー、継続は

答 来年度もポピー栽培を継続して取り組む

ラベンダー園、
来年の運営は…

問 「らんざんラベンダーまつり」とラベンダー園の運営について

(1)有料来場者数は。
(2)総収入とその内訳、収支結果は。
(3)経済効果は。
(4)来場者等の声や課題は。

(5)ラベンダー園の運営見直しについて

ア、「ラベンダーまつり」等のイベント開催は、運営予算は。
ウ、ポピー栽培の継続は。

答 企業支援課長
(1)来場者数3万5

09人うち有料来場者数は2万8308人。
(2)総収入4175万2345円の内訳は、地方創生交付金1971万4千円、入場料1389万5900円、駐車場料金336万1800円、摘み取り体験328万5000円、手芸教室44万7500円、物販等93万3835円、その他11万8810円。全体で3828万8077円の支出があり、収支結果は346万4268円の利益。

(3)イベント会場への出店者全体で1050万円の売り上げがあり、全ての事業者から「来年も参加したい」という意見をいただいた。また、マスコミ等に取

り上げられたことで、数千万円分の広告宣伝効果があったと試算できると。

(4)開催を楽しみに待っていたという声が多く聞かれた。一方で摘み取り体験は、場所が分かりにくく、終了時間が早くて残念だという声も聞かれた。

(5)ア、開催は、開催の可否から協議していく。
(5)イ、運営予算は、今回の収支について十分協議した上で、来年度の概要を決めていく段階で精査したい。

(5)ウ、来年度も、ポピー栽培を継続して取り組む予定。



ラベンダー園=町ホームページから

【その他の質問事項】

◆物価高騰に対する支援策について

◆町立小中学校再編に係る答申後の方向性について



松本 美子 議員

水道の凍結防止用蛇口を早急に

答 事業実施に向けて準備を進める

大切な水を守ろう

問 高齢者世帯に対し、凍結防止用蛇口を取り付ける考えは。

答 上下水道課長 資機材の選定及び調達、申請手続き、設置方法等、事業実施に向けて準備を進めている。

問 水道メーター交換の実績は。

答 上下水道課長 計量法に基づき8年以内に計画的に交換している。例年11月から1月に実施し、3年度は1469個交換した。漏水調査の実施方法と漏水軽減制度の実績は。



答 上下水道課長 漏水調査は検針時及び水道メーター交換時に実施している。また、町内を南北に分けて漏水調査業者への委託による調査も実施している。軽減制度は、発見困難な地下等での漏水を対象としており、3年度の申請件数は28件、軽減料金は59万4420円である。

合併浄化槽 第2期事業 300基目標

問 町民への周知は。

答 上下水道課長 ホームページで契約内容の公表を行うと共に、窓口や電話対応を行っている。今後、各戸へのパンフレット配布や広報等で周知を図る予定。

問 浄化槽整備区域内の面積と目標を300基とした理由は。

答 上下水道課長 面積は2601ヘクタール。2年度実績は単独処理浄化槽473基、汲み取り107件の合計580件。このおおよそ半数である。

300基を整備目標とした。

問 1期事業で設置した浄化槽及び寄附を受けた浄化槽の維持管理は。

答 上下水道課長 第2期事業の契約に含まれており、引き続き町が点検、清掃、法定検査、修繕を行っている。3年度末の維持管理基数は821基。

問 PFI事業者の選定方法は。

答 上下水道課長 公募型プロポーザル方式。民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に基づき事務を行い、事業者の選定をしている。

樹木の適正な管理

問 民地樹木や生垣の管理はどのようにしているか。

答 まちづくり整備課長 通行に支障が出たり、防犯灯やカーブミラーの効果を阻害する場合、土地所有者を調査し、剪定・伐採のお願いの通知を送付している。また、町広報でも啓発記事を掲載している。

※PFI：公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと。



畠山 美幸 議員

キオスク端末導入で証明書交付を

答 実践できるよりに考えたい

マイタイムラインの研修をお願いしたい

問 ふれあい交流センターにキオスク端末設置の考えは。

答 総務課長 キオスク端末は、マイナンバーカードを利用することで、住民票の写し等をコンビニ等で取得できるサービスで、当町でも、令和3年3月より利用できるようになった。利点は、全国のココンビニで、6時30分から23時まで利用可能であり、今後調査研究を進めたい。駅西口にはコンビニがないため、証明書の発行について、

近隣の方々から不便になったと聞いている。町のマイナンバーカード普及率は50%と高いが、導入についてどう考えるか。

答 町長 実践できるよりに考えたい。

災害対策について

問 最近の降雨で、河川の氾濫や土砂災害が頻発している。

答 地域支援課長 (1)本年3月に地域防災計画を全面改訂し、町営の指定避難所9箇所、指定避難場所22箇所を定めた。自主運営の避難所を含めると40箇所あり、現在のところ見直す予定はない。(2)マイタイムライン(防災行動計画)の作成を推奨している。全戸配布の防災地図(防災ハザードマップ)に作り方を掲載した。各地区の防災会の訓練や研修等により、作成する機会を設けたいと考えている。また、避難行動の判断材料として、役場屋上の小型気象計(POTEKA、NET)で雨量が確認できる。

再答 地域支援課長 調整している。

再問 気象アドバイザーの活用は。

再答 地域支援課長 活用できるか調査を進めた上で検討する。



My POTEKA

【その他の質問事項】

- ◆マイナンバーカードの交付事務について
- ◆外国人児童生徒を受け入れる学校の現状と課題について



小林 智 議員

早期にデジタル化
推進でデータ整備を!

利活用のための データ整備と取 り組み

問 具体的な課題で道
路台帳の整備状況
と公開は。

答 まちづくり整備課
長 台帳の電子化
については、現在取り
組んでいる。紙ベース
からの移行が中心で道
路台帳の公開までには
いたらないが、一・二
級町道についてはホー
ムページにて公開して
いる。

町のデータベース整備と公開の方向は

答 将来的には統合型GIS導入などが利活用には有用と考えている

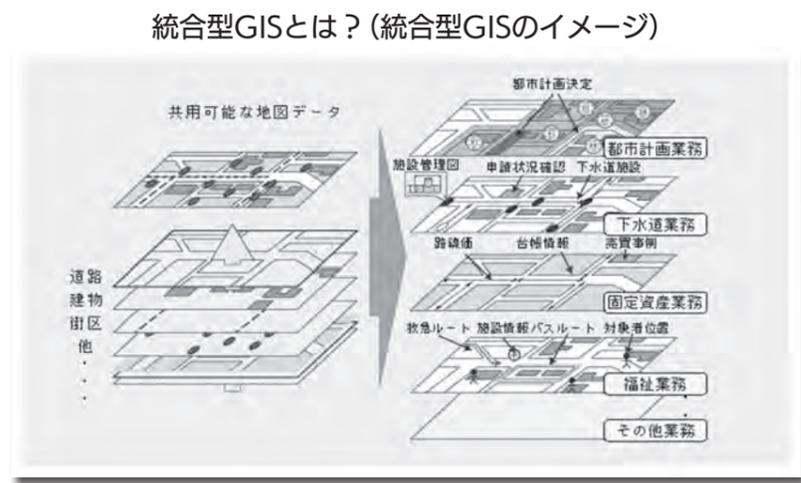
問 データの整備と公
開の考えは。

答 地域支援課長 利活
用できる情報を活
データベース化するこ
とは有意義と考えてい
る。例えば、統合型G
IS(全庁で利用可能
な地理情報システム)
の導入で道路台帳、都
市計画図、防犯情報な
どを一元化できれば部
局を超えた政策、施策
への活用が考えられる。
しかし、予算面や技術
的課題があり取り組み
に至っていない。

町道の草刈りに ついて

問 町道の歩道法面の
雑草繁茂が激しい。
(1)年2回にできないか。

(2)環境美化清掃の中で
草刈りを実施できない
か。
(3)町道のほか公園、広
場での地区行事等を傷
害補償・損害賠償等包
括的に町で対応できな
いか。
答 (1)まちづくり整備
課長 複数回が理
想であるが、費用・委
託先の許容量等を考え
ると現状でやむを得な
い。
(2)環境課長 行政区に
よっては、同時に行っ
ているが、今後、実施
要領に記載し、環境美
化推進委員会議にて説
明していく。
(3)総務課長 町の所有
使用、管理する施設で
町が法律上の賠償責任
を負う場合の損害保険



に加入している。町の
依頼や一定の関与があ
り住民の奉仕活動等で
町に責任が及ぶ場合は
対象としている。

【その他の質問事項】
◆マイナンバーカードの交付状況と活用について



青柳 賢治 議員

答申には最大
公約数で答えよ

問 ラベンダーまつり について

(1)手芸施設の活用
(2)平均入場者数
(3)事業収支
(4)経済効果
(5)改善点
(6)来年度の取り組み

答 企業支援課長
(1)観光協会の各種
物販品の保管庫として
活用。
(2)平日1200人、土
日2700人。
(3)開催期間中、総収入
4175万2千円、総
支出3828万8千円。
(4)出店者全体の売り上
げは1050万円。経

千年の苑ラベンダー園 来年度の取り組みは

答 開催可否をゼロベースで協議

経済効果の試算は、1億
2千5百万円程度。
(5)交通・雨対策、現地
でのイベント企画や出
店の充実、早い時期か
らのPR等。
(6)開催可否の段階から
ゼロベースで協議を進
める。

再問 稼ぐ拠点としての
考えは。

再答 町長 必ず成功に
導びく必要性を改
めて感じた。

小中学校再編等 審議会の答申を 受けて

問 (1)前検討委員会と
今回の結論を踏ま
え、町長の受け止め方
や所感について
(2)住民説明会での質疑

応答
(3)今後の再編の進め方
答 町長 (1)前検討委員会の
結論に対して所感を述
べることは控える。条
例に則って設置された
審議会で議論をしてい
ただき「3校の小学校
を1校に、2校の中学
校を1校に、新しい学
校の場所は現在の菅谷
小・中学校とする」と
いう結論に「よくぞこ
こまでまとめていただ
いた」というのが率直
な感想だ。
教育委員会事務局長
(2)情報提供及び今後の
スケジュールについて
等。
(3)答申の内容をできる
限り尊重し、基本方針
の策定、基本設計、実

再問 施設を進める。
現場の先生方の声
をどう受け止める
か。

再答 教育長 様々な意
見を参考に、素晴
らしい学校ができるよ
う最大限努力をする。



また来年来ようね = R4.6.27

【その他の質問事項】
◆ひとり親世帯への支援策について



川口 浩史 議員

ラベンダーまつり、赤字でも開催とは、わからない。

問 今年の「ラベンダーまつり」の収支はどうかであったか。また、稼ぐ力として千年の苑の事業を始めたわけだ。評価をどのようにしているのか。

答 企業支援課長 地方創生推進交付金1971万円、入場料1389万円など総収入4175万円で、支出は3828万円であるため346万円の黒字になった。また稼ぐ力の評価であるが、商工農業者へ稼げる場の提供ができた。さらにマスコミによる宣伝

未来のラベンダーまつり、赤字でも開催するのか

答 人件費など支出をけずり、収入増をはかり、開催したい

再 効果数千万円はあったとみている。このことから、一定の効果があつたものと考えている。

再 来年度から地方創生推進交付金はなくなるため、黒字化は容易ではないと考える。黒字化が見えない限り「ラベンダーまつり」の開催はしないというところか。

再 企業支援課長 人件費など支出を減らし、一方ラベンダー精油の販売など収入増をはかり、開催したいと考えている。

再 教育長 漢字検定において非常に力を持っていただいたのは事実だ。



最高賞の「文部科学大臣賞」を受賞した七郷小学校。少人数の七郷小は、学習するのに最高の環境にある。

【その他の質問事項】
◆空き家について
※複式学級：2つ以上の学年の児童や生徒を1つの学級に統合した学級



長島 邦夫 議員

温暖化が影響か？豪雨災害が多い！自分を守る行動を！！

豪雨による災害対策について

答 豪雨災害には各課で万全を期す

問 気象庁のアメダス鳩山では、7月12日17時から23時の6時間雨量が360ミリに達し、観測史上最大を記録した。本町南部でも同等の雨量と考える。実態は。

答 地域支援課長 被害は床下浸水6件、

再 敷地内・農地の泥流入、崖崩壊、町道冠水・土砂の流入・流出、都幾川護岸損傷、町道法面崩壊、水路の堆積・損傷等、合計数十件の大小の被害が発生した。他に、鎌形球場法面崩壊2カ所、農産物では大豆約4万7500㎡の被害報告があった。

再 新規工場が立地したことで、谷津田がなくなつたため、雨が道路を越え、水路等の被害が出てしまった。調整池は必要ないか。

再 副町長 町の構造物には5年確率時間当たり57ミリ対応で設計されている。それ以上の雨量は想定外であり、水路が溢れたり、



町道2-26号、路肩が崩れる = R 4.7.14

再 道路が水路状態になりたりするが、やむを得ないと考える。

再 町道1-15号は交通量の多いため、路面の傷みが激しく、事故が多くなっている。特に菅谷地区、大蔵地区、將軍沢地区は早急の全面改修が必要と思われるが、考えは。

再 町道1-15号は交通量の多いため、路面の傷みが激しく、事故が多くなっている。特に菅谷地区、大蔵地区、將軍沢地区は早急の全面改修が必要と思われるが、考えは。

再 町道1-15号は交通量の多いため、路面の傷みが激しく、事故が多くなっている。特に菅谷地区、大蔵地区、將軍沢地区は早急の全面改修が必要と思われるが、考えは。

再 町道1-15号は交通量の多いため、路面の傷みが激しく、事故が多くなっている。特に菅谷地区、大蔵地区、將軍沢地区は早急の全面改修が必要と思われるが、考えは。

再 町道1-15号は交通量の多いため、路面の傷みが激しく、事故が多くなっている。特に菅谷地区、大蔵地区、將軍沢地区は早急の全面改修が必要と思われるが、考えは。



都幾川班深寺橋下の現況 = R 4.8.28

再 町道1-15号は交通量の多いため、路面の傷みが激しく、事故が多くなっている。特に菅谷地区、大蔵地区、將軍沢地区は早急の全面改修が必要と思われるが、考えは。

再 町道1-15号は交通量の多いため、路面の傷みが激しく、事故が多くなっている。特に菅谷地区、大蔵地区、將軍沢地区は早急の全面改修が必要と思われるが、考えは。

再 町道1-15号は交通量の多いため、路面の傷みが激しく、事故が多くなっている。特に菅谷地区、大蔵地区、將軍沢地区は早急の全面改修が必要と思われるが、考えは。



藤野 和美 議員

小規模校や少人数学級の良さは

子どもひとりひとりに教員の目が届くこと

今こそ小規模校の良さを再認識するきっかけは

問 小規模校や少人数学級についての考えは。

答 教育委員会事務局 長 その良さは認識しているが、ある程度の規模を維持し、多くの児童生徒と交わる中で、成長することも大事。

再問 良さは。

再答 教育長 子ども一人ひとりに教員の目が届くこと。

問 小規模特認校についての考えは。

答 教育委員会事務局 長 七郷小が想定



七郷小学校の校舎=R4.9.17

されるが、多くの児童が希望するとは考えにくい。

再問 農村地域の活性化とも関連しており、やる意味はあるのではないか。

再答 教育長 やる意味はあると思うが、送迎の問題もあり希望

者がいるか疑問。

再問 メリットはないのか。

再答 教育長 複式学級が解消される。

問 審議会の答申について。

答 教育委員会事務局 長 できる限り尊重しすすめていく。

子育て支援は

問 2歳児までの子育て支援は。

答 福祉課長 保育料を4割程度減免している。

再問 出産一時金などの支援は。

再答 町長 国の動向を見て検討する。

問 子育て広場レピの開催日を増やす考

えは。

答 福祉課長 検討する。

再問 月曜日の開催は。

再答 福祉課長 他の施設の状態をみて検討する。

問 保育園休園時の他園でのバックアップの体制は。

答 福祉課長 感染リスクもあり考えていない。

再問 無園児への36時間無料チケットは。

再答 福祉課長 検討する。

防災ラジオは

問 防災無線は家の中では聞こえにくい。防災ラジオの導入を検討する考えは。

答 地域支援課長 デジタル化によってアナログ波に変換する装置が必要となる。

再問 あるメーカーではデジタル対応機を試作しているとのことだが。

再答 地域支援課長 検討する。

【その他の質問事項】 ◆障害者優先調達推進法について

※小規模特認校：特定の学校について、学区外の児童を受入れることができる学校
※無園児：保育園・幼稚園に通っていない未就学児



渋谷登美子 議員

学校統合で、北部は過疎が進む！

答「コミュニティ維持の対策を講ずる必要がある

北部地区に学校を残そう。小規模特認校制度があります。

問 小中学校再編審議会の答申では菅谷中に中学校を2校、菅谷小に小学校3校を統合である。駅東側に学校がなくなる。学校は少子化のみの問題ではなく、まちづくりの問題を含む。北部は近い将来無子高齢化社会になる。地域別住民説明会は。

答 教育委員会事務局 長 答申の説明会は8月23・24日に開催した。その後の説明会は決定していない。地域支援課長 過疎化が加速する懸

念はあるので、地域の暮らしやコミュニティ維持の対策を講ずる必要がある。

問 町内に小学校1校、中学校1校では、子供に選択肢がない。北部地区に小規模特認校を持つてきては。

答 教育長 教育委員会では少子化が出发点であり、北部地区の活性化とは切り離して考える。

北部地区でゼロカーボンシティを

問 (1)地域公共交通の拠点として電気自動車で地域の移送を行うことについては。(2)花見台工業団地など

では太陽光パネルを取り付けている。脱炭素地域循環共生圏構想構築事業については。

答 地域支援課長 地域公共交通に電気自動車を活用するのは有効な手段で、将来的にその方向を目指したい。

答 環境課長 現在プロジェクトチームを発足させたところであり、これから検討する。

問 農業においては有機農業地域を25%にする目標だ。町の学校給食を100%有機米、使っている嵐山町産の野菜を全て有機野菜に。



ごちそうさま。おいしかったです。議員学校給食試食会より=R4.9.7 (嵐山町産のご飯、嵐山町産茄子の麻婆茄子、トックのスープ・冷凍みかん)

答 農政課長 町の有機栽培農家は9経

営体。ハードルは高いが、計画性を持って進める。

【その他の質問事項】

- ◆太陽光発電による道路照明灯の導入について
- ◆若い世代への生活支援及びまちづくり参加について
- ◆小川地区衛生組合ごみ分別について

総務経済常任委員会

6月24日・7月15日・8月5日
 ●今後の観光振興のあり方について
 ●ウィズコロナ時代におけるまちづくりについて

今後の観光振興のあり方について

●6月24日
 若者との意見交換会のまとめと今後の観光農園のあり方や可能性について意見交換を行った。



観光果樹園ふるさとでの摘み取り体験=R4.7.15

●7月15日
 古里「ミニユニティセンター」内で「観光果樹園ふるさと」会員と意見交換を行い、その後ブルーベリー園視察を行った。

◎主な意見や質疑応答

Q 地域の人だけでなく、外部の人を受け入れる態勢があるか。また、今後についてどう考えているか
 A どういったら長期的に維持できるか考えている。高齢化で後継者がいないことが問題だ。

意見 北部地域に人が集まる場所を作ることがテーマだ。ブルーベリー園の組織が発展していく方法を一緒に考えていいたい。

●8月5日
 「観光果樹園ふるさと」との意見交換と視察のまとめとして意見交換を行った。

ウィズコロナ時代におけるまちづくりについて

●6月24日
 今後のまちづくりの方向性について意見交換を行った。

文教厚生常任委員会

6月21日・7月4日・8月4日
 ●民生委員制度の現状と課題について
 ●ウィズコロナ時代における高齢者の健康維持・教育環境について

民生委員制度の現状と課題について

●6月21日
 福祉課より説明
 (1)委員の高齢化
 (2)個人情報取り扱いによる活動のしづらさ
 (3)後任問題

●7月4日
 地区の民生委員から聞き取りをした内容について報告・意見交換。

- 8月4日
 福祉課より説明
 (1)負担軽減への対応
 (2)研修のあり方
 (3)不明瞭な職務内容
 (4)災害時における役割
 (5)個人情報の取り扱い
 (6)周知不足
 (7)なり手不足
 (8)主任児童委員の専門性の確保

ウィズコロナ時代における高齢者の健康維持・教育環境について

《町への提言》
 (1)新型コロナウイルスの感染状況について、事業実施の判断となる適切な情報発信に努めること。
 (2)フレイル予防には「あるく(運動)・しゃべる(社会参加)・たべる(食事・口腔機能)」に対する取り組みが重要である。そこで、感染状況の変化に応じた対策を講じた上で、町民が楽しみながら自発的に実践できるような事業の実施をお願いする。



通いの場「ぶらっと嵐トレ」=R4.9.21

小川地区衛生組合議会

8月23日(火)令和4年第2回定例会が小川町議会議場にて開催され、提出された議案4件は原案通り可決されました。

●議案第7号

小川地区衛生組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について
 ※事業系一般廃棄物処理手数料10kg当たりの200円を300円に変更するもの。

●議案第8号

令和4年度小川地区衛生組合一般会計補正予算(第1号)
 ※前年度繰越金1億1550万円が確定し、繰越金及び予備費に加えたもの。

●議案第9号

令和3年度小川地区衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について
 ※歳入総額 13億1804万円
 ※歳出総額 10億9669万円

●一般質問(小林智)

Q オリックスへの委託の状況は
 A 概ね想定通りの処理量となっている。

Q 家庭可燃ごみの分別方法が変わったが影響は
 A 不適物の混入が全体の約2割。引き続き管内町村を通じて周知し混入を減らしたい。

●その他

オリックス寄居バイオガスプラントでの火災事故(8月14日)について、影響等の報告がされた。

比企広域市町村圏組合議会

8月9日(火)令和4年第3回定例会が東松山市議会議場にて開催され、提出された議案12件は原案通り可決されました。

●議案第19号

比企広域市町村圏組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について

※育児参加のための休暇の対象期間の拡大。「後8週間」を「以後1年」に改めるもの。

●議案第20号

令和4年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算
 ※総額 7216万6千円
 (2069万6千円増)

●議案第21号

令和4年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算
 ※総額 33億3512万9千円
 (7712万9千円増)

●議案第24号

令和4年度比企広域公平委員会特別会計補正予算
 ※総額 118万4千円
 (8万4千円増)

●議案第25号

令和3年度比企広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算の認定について
 ※歳入総額 7549万円
 ※歳出総額 6135万円

請願・陳情の取り扱い

町政についての要望などを、請願・陳情として文書で議会に提出することができます。提出された請願・陳情は、議会運営委員会の判断のもと、審査が必要なものは常任委員会などで審査し、本会議で「採択」「不採択」などが決定されます。
請願は議員の紹介を必要としますが、**陳情**については議員の紹介は必要ありません。
 ※陳情者が町内の場合、請願と同じ取扱いをします。
 (嵐山町議会会議規則第95条)



請願・陳情について(町HP)

今年のラベンダー園はとてますばらしかった。ラベンダースティックを作るのが好きなので、来年も楽しみに待っています。

町の様子などが分かって、発行ごとにしっかりと読ませてもらっています。



©嵐山町 2011

187号の表紙にあるような「ドローン」の操縦を体験してみたい。

投票済証かわいかったです。投票したことのない人がもっと知れるようにした方がいいと思います。

こえは要約させていただいております



今回の定例会は 11月30日(水)開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。 請願・陳情は 11月21日(月)午後5時まで提出してください。

【応募方法】

ハガキに該当の記号(例 ①ーイ) 住所・氏名・年齢を書いてお送りください。1家族1通のみを有効とします。議会だよりの感想もお聞かせください。

【宛先】

〒355-0211 嵐山町大字杉山1030-1 議会事務局

応募者の中から抽選で5名の方に図書カードを差しあげます。発表は次号に掲載します。

【しめきり】 令和4年12月23日(金) まで

議会だよりアンケート

- 問1 議会だよりはどのくらい読みますか。
イ. ほとんど読む □. 半分くらい読む
ハ. 2割くらい読む
問2 一番よく読む記事は何ですか。
イ. 一般質問 □. 主な議案
ハ. 読者の声・編集後記
問3 ページ枚数はいかがですか。
イ. 多い □. ちょうどいい ハ. 少ない
問4 今後、あなたの期待する紙面をお聞かせください(記入自由)

図書カード(千円)を差しあげます

コメントがほしいな



議会だより187号のクイズ 当選者です!

応募者21人中17人が正解でした。正解は、問1ー□、問2ーハ、問3ーイです。当選者は次の方々です。

- 内田 恵子様 (平沢)
酒匂 幸子様 (廣野)
大場 明様 (むさし台)
清水 幸生様 (志賀)
松村 隼人様 (川島)



志賀小・七郷小の稲刈り体験(杉山城址下の田んぼ) = R4.10.3

編集後記

今月発行の188号から編集担当委員が交代しました。今まで以上に皆さんに読んでもらえる議会だよりに向けて、議会だよりアンケートをお休みします。多くの皆様からのご意見をお待ちしています。

表紙は、内容をリニューアルして3年ぶりに開催された、自主参加型スポーツ大会(嵐山町秋のスポーツフェスティバル2022)の様子です。パンデミックも間もなく終焉と言われています。健康が何より大切となる人生100年時代、ラジオ体操でも始めませんか。(青柳)